

スピリチュアル物語

43話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

トランスマリ奥特内スターボックス(要予約):1時間 \$60

メール相談:(要予約):majyotomoe@gmail.com \$16/1件(Paypal)



「事実と同じでもどういう感想を持つかによりその人それぞれの真実は変わる:その際、人間は愛という意識を持つことが出来る:」ウィザットがマグワートの言葉を咀嚼していた。

「事実をどう解釈するか、ということじゃ。つまり人間は事実をそのまま記録する機械ではない。人が事実を受け止める際、それは「主観的事実」となって、人それぞれの真実として捉えられる。主観というものは感情と結び付いており、事実に対しての感想、つまり主観というフィルターを通して主観的事実となる人にとっての真実となる訳じゃ。その際、愛という主観に基づいて事実を解釈することも可能という意味じゃ」「でも:

酷いことに対しては愛という主観は持てません」マジョリアルが憮然とした表情で反論する。「酷い」という解釈をした時点で、それは主観的事実じゃよ。事実そのものには酷いも酷くないもないんじゃない」「ええ?明らかに誰の目から見ても酷いことはあるよ」ウィザットがマジョリアルに加担する。

「そうじゃな。人間的視点から見ればそう見えることはこの世に蔓延している:。しかしながら、それでも宇宙的視点では、その事実にはニュートラル、「単に起きたこと」なんじゃよ。それをどう捉えるかが人間の学び、課題とも言える」「じゃあ。何でもかんでも、どんなに酷いことでも、そこに全て愛という主観を入れて解釈しない

とならないのでしょうか。そんなこと出来ないわ」マジョリアルが語気を強め頬を膨らませる。

「うん。それは深い学びじゃな:。神レベルじゃ。神、つまり宇宙は人間が何をしても、深い愛を失わないでいて下さる。ワシら人間の成長を温かい愛で見守っている。ワシらの中にある神の部分、ハイヤーセルフもその愛を持っている。そのことにどれだけ気付くことが出来るか。それが地球に生まれたワシら人間のミッションなんじゃ」



★これまでのお話(1~42話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com 9月8日号につづく!